

**日東シンコー杯2018**  
**U-10福井県少年サッカー大会**  
**実施要項**

1. 趣 旨 本大会は、福井県少年サッカーの水準向上と普及振興、ならびに相互の親睦を深めサッカーを通じ少年たちの心身を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく力強く生きる人間に育てることを目的とする。
2. 名 称 日東シンコー杯2018 U-10福井県少年サッカー大会
3. 主 催 一般社団法人福井県サッカー協会  
N P O 法人福井市サッカー協会 ・ 坂井市サッカー協会 ・ 鯖江市サッカー協会
4. 共 催 福井テレビ
5. 主 管 一般社団法人福井県サッカー協会第4種委員会  
N P O 法人福井市サッカー協会 ・ 坂井市サッカー協会 ・ あわら市サッカー協会  
大野市サッカー協会 ・ 勝山市サッカー協会 ・ 越前市サッカー協会  
鯖江市サッカー協会 ・ 敦賀市サッカー協会 ・ 小浜市サッカー協会
6. 特別協賛 日東シンコー株式会社
7. 後 援 福井新聞社
8. 協 力 株式会社ミカサ（予定） ・ 株式会社P & P 浜松（予定）
9. 期 日 2018年9月1日（土） ・ 2日（日） ・ 8日（土） ・ 15日（土）
10. 会 場 <1、2回戦> 9月 1日 … 福井市スポーツ公園天然芝（4面）  
9月 2日 … 福井市スポーツ公園天然芝（4面）  
<3回戦、準々決勝> 9月 8日 … 丸岡スポーツランド人工芝（4面）  
<準決勝、決勝> 9月15日 … 鯖江市東公園陸上競技場（1面）
11. 参加資格と条件
  - ① 大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下、J F Aという）へ加盟登録したチームで、かつ、一般社団法人福井県サッカー協会第4種委員会（以下、第4種委員会という）に加盟登録したチームであること。

- ② 「参加選手」は、上記、加盟登録チームに所属する選手で、「JFA」発行の選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）を有する選手であり、かつ、「第4種委員会」に個人登録し、2008年4月2日以降に生まれた選手であること。  
(ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。)
- ③ チーム構成は、大会エントリー表に記載された代表者・監督・コーチ及び選手とする。なお、チームの構成に変更が生じた場合は、8月19日（日）までに地区代表ならびに第4種事務局及び委員長に連絡し承認を得ること。
- ④ 今大会は、「第4種委員会」登録の1チームより複数チームの参加を認める。ただし、複数参加の場合は、監督・コーチは有資格者であること。なお、監督ならびに帯同審判員の重複は認めない。また、選手は8名以上とし、5名以上の4年生がいることとする。複数参加チームにおいて、トーナメント抽選後の選手入れ替えは認めない。チーム名は便宜上、登録チームのあとにA・B・C・・・とつけること。
- ⑤ 選手数の不足で登録チームでのエントリーが出来ない場合、他の選手数不足の登録チームと合併チームでの参加を認める。チーム名は両チーム名を併記すること。また、地区代表ならびに第4種事務局及び委員長に連絡し承認を得ること。
- ⑥ 選手は健康診断を受け、医師の許可と保護者の同意を得、スポーツ傷害保険に加入していること。

## 1 2. 大会形式

参加全チームでトーナメント戦の抽選を行う。なお、複数参加のチーム同志は1回戦で対戦しないよう配慮する。決勝戦までは延長戦なしのPK方式で勝者を決定する。決勝戦のみ10分(5-0-5)の延長を1回行い、それでも決しない場合にはPK方式により勝者を決定する。また、1回戦で敗退したチームはフレンドリーマッチを行うことができる。ただし、相互チームの意思を確認し合った上で、日程表の決められた時間、ピッチで行うこととする。

※フレンドリーマッチを希望する両チームは、必ず、キックオフ時間の30分前までに大会本部に申し出ること。

## 1 3. 競技規則

JFA「8人制サッカー競技規則」に則る。

## 1 4. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

### (1)競技のフィールド

フィールドの表面は、人工芝または天然芝とする。

フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mとする。

ペナルティエリア等：

- ・ペナルティエリア 12m
- ・ペナルティマーク 8m
- ・ペナルティマークの半径 7m
- ・ゴールエリア 4m
- ・センターサークルの半径 7m

(2) 試合球：ミカサ社製検定球 4 号

なお、準決勝戦及び決勝戦はマルチボールシステムを採用する。

(3) ベンチ入りできる役員の数

すべての試合においてエントリー表に記載されている役員の内、3 名以内とする。

(4) 競技者の数

1 チーム 8 名の競技者によって試合は行われる。チームの競技者のうち 1 人はゴールキーパーとする。本大会では 6 人に満たない場合は試合を開始せず、没収試合（0-3）とする。また、試合中に怪我等により人数不足が生じた場合は 6 人に満たなくなった時点で没収試合（0-3）とする。ただし、終了時点での得点差が 3 点以上の場合、そのスコアを採用する。

※一方のチームが 8 人に満たない場合、両チーム合意のもと、極力、両チーム同数とすることが望ましい。

(5) 選手交代

試合前に提出されたメンバー表の選手（先発及び交代要員）においては、自由な交代を行うことができる。交代要員はユニフォームと区別できるピブス等を着用すること。

（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる）

(6) 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ④ 交代は第 4 審判、主審の承認を得る必要はない。
- ⑤ ゴールキーパーは、事前に補助審判、主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

(7) テクニカルエリア

設置する。その場合、都度ただ 1 人の役員のみが、戦略的指示を伝えることができる。

(8) 選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）

1 回戦から準決勝戦までは 1 日 1 回提出し、本部にて選手確認を行う。（当日の初戦 60 分前までに選手確認を終えておくこと）また、準決勝戦及び決勝戦においては 60 分前のマッチコーディネーションミーティングまでに本部での選手確認を終えておくこと。

(9) 試合時間

- ① 試合時間は 30 分（前後半各 15 分）とする。  
ハーフタイムのインターバルは 5 分間とする。（前半終了から後半開始まで）
- ② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合  
1 回戦から準決勝戦は、ペナルティキック方式（3 人）により勝利チームを決定する。決勝戦のみ 10 分間（前後半各 5 分）の延長戦を 1 回行い、なおも決しない場合は、ペナルティキック方式（3 人）により勝利チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。（後半終了から延長前半開始まで）また、ペナルティキック方式に入る前のインターバルは 3 分間とする。
- ③ アディショナルタイムの表示を行う。（決勝戦のみ）
- ④ 主審の判断により給水タイムまたは、Cooling Break を設定する場合がある。原則、給水タイムは 1 分間とする。Cooling Break は 3 分間とする。いずれも試合の時間には含まれないものとする。

(10) 審判員

すべての試合において、1人の主審と2人の副審と第4の審判員が指名される。

(11) メンバー表

大会申込時に提出されたエントリー表のメンバー表のコピーを使用する。先発を○で囲み、ベンチ入りしない選手と役員は横線で抹消すること。さらに必要事項を記入し、試合毎に試合開始時間60分前までに1部を本部に提出すること。ただし、準決勝戦・決勝戦においては、試合開始時間60分前のマッチコーディネーションミーティングに監督またはチーム役員が7部提出すること。なお、ベンチ入りできる選手の数はエントリー表記載の全員が可能となる。

(12) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名がピッチへの入場を許可される。

(13) 怪我の対処

大会期間中の傷害事故については、チームが責任をもって対処すること。

(14) 競技者の用具・ユニフォーム

- ① 原則、JFAのユニフォーム規程（2016年4月1日施行）に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条〔ユニフォームへの表示〕※該当のみ抜粋

GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示  
両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅  
（10cmから8cmに変更）

同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

- ② Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑧に準じる。
- ③ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを携行すること。（FP・GK用共）
- ④ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑤ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑥ ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑦ ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
- ⑧ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2018年12月17日（月）までに本協会に承認された場合のみ認められる。  
※ 本協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- ⑨ 半袖ユニフォームの下にアンダーシャツを着用する場合、ユニフォームの袖の主たる色と同色とする。
- ⑩ アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならぬ

- い。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
- ⑪ 正・副のユニフォームの4色と区別できる色のビブス2色を準備すること。  
※ 別大会名ロゴが記載されたものは使用できない
  - ⑫ 取替え式ポイントのスパイクの着用は禁止する。
  - ⑬ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず2018年8月31日（金）までにJFAに承認された場合にのみ認められる。  
競技者の用具（ユニフォーム）

#### (15) ゴールキーパーユニフォーム

ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。ただし、本大会においては以下の順序によりシャツを着用すること。

- ① 出場していたゴールキーパーが着用していたシャツ
- ② サブのゴールキーパーシャツまたは、サブのフィールドシャツ
- ③ 他の競技者と区別できる色のシャツ（違う番号でも構わない）

### 15. 審判

- ① 準決勝戦は、主審のみ一般社団法人福井県サッカー協会審判委員会派遣審判員（以下、協会審判員）が行う。また、優勝決定戦は、主審及び副審を協会審判員が行い第4審判は運営協力審判員で行う。なお、準々決勝戦以下の試合については帯同チーム審判員が行う。
- ② 主審は、試合後審判報告書を本部へ提出し、第4種委員会審判長がそれをまとめる。
- ③ 割り当てられた試合の審判員は、60分前に本部又は審判席に集合すること。また、主審はユニフォームの決定を行うとともに審判員と打ち合わせを充分に行うこと。
- ④ メンバーチェックは、試合時間に遅れないように行うこと。
- ⑤ 審判員は正装で行うこと。  
(シャツ、パンツ、ストッキング、資格ワッペン、フェアプレーワッペン、リスペクトワッペン)
- ⑥ 審判員は、審判証・手帳を必ず持参して下さい。

### 16. 懲罰

- (1) 本大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、出場停止処分はトーナメント内において順次消化する。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止すること。
- (6) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

## 17. 開・閉会式

開会式は行わないが、閉会式は、ベスト16以上の参加全選手が参加して行なう。

## 18. 表彰（予定）

- (1) 優勝チームには、表彰状、優旗杯、トロフィーを授与する。
- (2) 準優勝・第3位には、表彰状とトロフィーを授与する。
- (3) 上記以外のベスト8進出の4チームには、特別賞を授与する。

## 19. 大会運営

第4種委員会、各地区役員、担当地区チーム、出場全チームで協力して行う。

## 20. その他

- ・ 本大会決勝戦および準決勝は、〇〇月〇〇日（〇）〇〇:〇〇～〇〇:〇〇に福井テレビで録画放送される。
- ・ 各コート責任者は本部と選手ベンチを準備する。また、テントなどは、天候を鑑み会場責任者が決定する。
- ・ 本大会の旅費は、各チーム負担とする。
- ・ 決定された試合時間は、関係機関、学校、および地域行事などで一部を修正又は変更されることもある。ただし、1回戦の最終試合までとする。

## 21. 関係各所、報道関係への試合結果報告先

- ・ 各会場責任者は、当日分の試合結果を大会事務局へ当日中の出来るだけ早い時間に報告すること。
- ・ 試合結果は大会名・期日・会場・試合の前後半別の得点及び報告者の氏名および連絡先を明記すること。
- ・ 大会事務局は各コート責任者からの試合結果を取りまとめ、関係各所・報道関係へ当日中に報告すること。ただし、二、三日間の連戦の場合は、まとめて報告しても構わない。

## 22. 報道関係への試合結果報告先

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| ● 日東シンコーEメール    | 確認中                        |
| ● 福井テレビEメール     | m.kurokawa@fukui-tv.co.jp  |
| ● 福井新聞社Eメール     | undou@fukuishimbun.co.jp   |
| ● 日刊県民福井Eメール    | henshu@kenmin-fukui.co.jp  |
| ● 福井県サッカー協会Eメール | info@fukui-fa.com          |
| ● 第4種委員会事務局Eメール | shinji-y@mtf.biglobe.ne.jp |

## 23. 参加申込 次の各項をもって参加申込とする。

- ① 参加申込送付(所定書式にて) 8月3日(金)までに  
第4種委員会事務局に所定の書式をEメールに添付して申し込む。
  - 送付先: 第4種委員会事務局 吉岡 親示 shinji-y@mtf.biglobe.ne.jp
- ② エントリー表送付(所定書式にて) 8月3日(金)までに  
第4種委員会事務局に第4種委員会所定の書式(HPよりDL)をEメールに添付して申し込む。

● 送付先 第4種委員会事務局 吉岡 親示 shinji-y@mtf.biglobe.ne.jp  
※必ずメール件名にチーム名及び「○○チーム\_U-10 エントリー表」と記入すること。

24. 参加料 3,000円/1チーム

25. 説明・抽選 参加全チーム代表者の参加で行う。※子供の入場は認めない。  
日時 平成30年8月17日(金) 午後7時より(受付6時30分より)  
会場 福井テレビ(ftb) 3F大ホール

26. 参加料振込

- 振込先：【加入者名】福井県サッカー協会 参加料  
【口座番号】00720-9-74968(郵便口座)  
※郵便局備付の青色印字の振込票  
※他金融機関からの払込用口座番号：店番079 当座0074968

27. 大会事務局

トーナメントの試合終了後、直ちに結果を下記大会事務局へ報告すること。

《大会事務局》 山崎 裕生  
携帯：080-1968-0856  
Eメール：y-yamazaki@maruichi-sekkei.co.jp

28. 問い合わせ

第4種委員会 委員長 甲斐 秀治  
携帯：090-2122-7612  
E-mail：1325kai@gmail.com